●主な特長（詳細）

1. ソニーのオーディオテクノロジーの集積から生まれたクリアなサウンド

短径約6.5cm（突起部除く）、幅約10.4cm、質量約300g（バッテリー含む）という小型の本体でクリアなサウンドを実現するため、“Rolly”にはソニーのさまざまなオーディオテクノロジーが生かされています。

（1） 180度水平対向配置ステレオスピーカーを採用
180度水平対向型にスピーカーが配置されているため、音の指向性が少なく、ユーザーはどの位置からでも、良い音を楽しむことが可能です。

（2） バッフル効果の活用
音を机や床などに反射させて“Rolly”の機体の上部に立体的な音像を作り出すため、小型サイズでありながらも、良い音を楽しむことができます。

（3） 高音質・高効率デジタルアンプ搭載/ネオジウムマグネット採用のソフトドームスピーカー
デジタルアンプを搭載することで、省電力ながらも迫力のある音を再生することが可能です。また、ネオジウムマグネットを採用した小型スピーカーにより高音質な音楽再生を実現しています。

2. 液晶ディスプレイがなく直感的に使用できるシンプルなユーザーインターフェース

本体の操作ボタンは電源スイッチとプレイボタンのみ。曲送りや音量調整などは、センサーを搭載した本体そのものを動かしたり、本体の一部を回転させたりするなどの操作によって行います。また、光と音、グループ音声ガイドを用いて、音楽の再生状態などをわかりやすくフィードバックします。

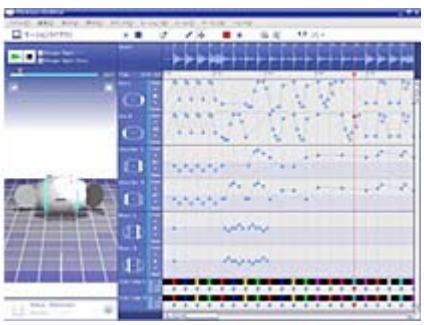
＜＜“Rolly”操作例＞＞

机に置いた場合の操作例：
本体を前後に動かし曲選択を実行

手持ちの場合の操作例：
下部のホイールを回転させることにより音量調節を実行

3. 音楽に合わせた動きの表現 モーション機能を搭載

本体に6つの可動部（アーム×2、ショルダー×2、ホイール×2）とLED（サイドランプ×2）を搭載しています。
株式会社レーベルゲートが運営する音楽ダウンロード・サイト“mora（モーラ）”からダウンロード購入した音楽などを、音楽ソフトウェア「SonicStage CP」を用いて本体に転送。その音楽に合わせて各可動部やサイドランプを制御することで、ダンスをしているような動きや光の表現を行います。モーション機能には3種類あります。



（1）セルフモーション機能
モーションが本体に登録されていない場合、本体が内蔵メモリーに転送された音楽を解析して動きます。

（2）おまかせオートモーション機能
本体に同梱されているPCアプリケーション「Motion Editor」を使って、高度なモーションをボタンひとつで自動生成することができます。対象となる音楽をソニー独自の音楽解析技術「12音解析」およびビート抽出技術によって精密に解析し、音楽のムードやテンポにマッチしたモーションデータを生成します。

（3）カスタムモーション機能
「Motion Editor」を使って、自由なモーションを手動で作成することができます。“Rolly”本体の6つの可動部とサイドランプをきめ細かく設定でき、ユーザーオリジナルのモーションデータを作成することができます。

「Motion Editor」を簡易に体験できる「Motion Editor お試し版」の無償配布を、ソニースタイル・ジャパンが運営する「ソフトウェアダウンロード」内「体験空間」サイト(http://www.jp.sonystyle.com/Taiken/)にて、9月28日から実施する予定です。
なお、作成したモーションは、他のユーザーとシェアすることができます。近日開設予定の“Rolly”モーションファイル共有サービス「“Rolly”モーションパーク」を利用するなどして、シェアすることが可能です。これにより、音楽とモーションを通じた自己表現とコミュニケーションを実現します。

4. Bluetooth(R)機能搭載

Bluetooth機能を搭載している音楽プレーヤー（パソコン、携帯電話、デジタル音楽プレーヤーなど）と本体をペアリングし、接続すれば、Bluetooth機能搭載音楽プレーヤーに保存されている音楽データを、“Rolly”のスピーカーを使って再生することができます※。
相手側Bluetooth接続機器がAVRCPプロファイルに対応していれば、“Rolly”本体で再生/停止などの操作が可能です。

ストリーミング再生中の曲は、セルフモーション機能で、音楽とモーションを同時にお楽しみいただけます※。

※ A2DPプロファイルに対応している必要があります。“Rolly”本体内の音楽を、相手側Bluetooth接続機器で再生させることはできません。
※ Bluetoothを利用した音楽再生の場合、モーションは、セルフモーション機能のみ対応しています。

●“Rolly”専用アクセサリー

写真	商品名/ 型名	発売日	希望小売価格	特 徴
	“Rolly”充電専用クレードル 『CDL-SE10』	9月29日	オープン価格	AC電源から“Rolly”に充電可能
	“Rolly”専用 ソフトキャリングケース 『CKR-SE10』	9月29日	オープン価格	“Rolly”を傷やホコリから守るケース
	“Rolly”専用 リチャージャブルバッテリーパック 『BT-SE10』	9月29日	オープン価格	本体同梱品と同じ

●主な仕様

モデル名	サウンドエンターテインメントプレーヤー “Rolly”『SEP-10BT』
電源	リチウムイオンバッテリー使用 USB電源（付属のUSBケーブルを接続してパソコンなどから供給）
バッテリー持続時間 （音楽再生：ATRAC 64kbps時 / モーション再生：ソニー基準のモーション（オートモーション相当）および使用環境で測定）	音楽再生時　約5時間 音楽とモーション再生時　約4時間 Bluetooth通信で音楽再生時　約4時間30分 Bluetooth通信で音楽とモーション再生時　約3時間30分
スピーカー	直径約20mm　最大出力：1.2W + 1.2W（満充電時）
周波数特性	20～20,000Hz（再生時、単信号測定） ※電子情報技術産業協会(JEITA)の規格による測定値
インターフェース	USB端子：miniB / Hi-Speed

本体寸法(幅×高さ×奥行)	約104×65×65mm(突起部除く)
質量	約300g(バッテリー含む)
容量 (ユーザー使用可能領域)	内蔵フラッシュメモリー:1GB (約968MB=1,015,726,080バイト) ※本機ではメモリーの一部をデータ管理領域として使用しているため、ユーザー使用可能領域は一般的な容量表示とは異なります。
再生できるファイルの種類	MP3 (MPEG-1 Audio Layer-3) ATRAC (Adaptive TRansform Acoustic Coding) AAC※ (Advanced Audio Coding) ※著作権保護されたAACファイルは再生できません。
記録できる最大曲数と時間の目安 (音楽は1曲4分のATRAC形式およびMP3形式の曲、モーションは1曲4分のソニー基準のモーション(オートモーション相当)で計算。他の音楽ファイル形式やモーションでは増減する可能性があります)	【音楽データのみ】 48kbps: 685曲、約45時間40分 64kbps: 515曲、約34時間20分 132kbps: 250曲、約16時間40分 256kbps: 130曲、約8時間40分 352kbps: 94曲、約6時間10分 【音楽データとモーションデータ】 48kbps: 536曲、約35時間40分 64kbps: 426曲、約28時間20分 132kbps: 227曲、約15時間 256kbps: 123曲、約8時間10分 352kbps: 90曲、約6時間
対応ビットレート	MP3:32～320kbps、可変ビットレート(VBR)対応※1 ※1) サンプリング周波数によっては、規格外および補償外の数値も含みます。 ATRAC:48/64/66(ATRAC3) ※2/96/105(ATRAC3) ※2 /128/132(ATRAC3)/160/192/256/320/352kbps ※2) SonicStage CPでは、ATRAC3 66/105kbpsのCD録音はできません。 AAC:16～320kbps、可変ビットレート(VBR)対応※3 ※3) サンプリング周波数によっては、規格外および補償外の数値を含みます。
サンプリング周波数※	MP3:32、44.1、48kHz ATRAC:44.1kHz AAC:11.025、12、16、22.05、24、32、44.1、48kHz ※すべてのエンコーダーに対応しているわけではありません。
Bluetooth(R)概要	通信方式:Bluetooth標準規格Ver.2.0準拠 出力:Bluetooth標準規格Power Class2 使用周波数帯域:2.4GHz帯(2.4000GHz～2.4835GHz) 最大通信距離:約10m 対応Bluetoothプロファイル:A2DPおよびAVRCP 対応コーデック:SBCおよびMP3
付属品	USBケーブル(コード長約75cm) リチウムイオンバッテリー アプリケーションソフトウェア: SonicStage CP(ソニックステージシーピー) Motion Editor(モーションエディター) スタンド 取扱説明書/クイックスタートガイド